令和8年度　学校教育目標「挑戦 笑顔ひろげる　丹那の子」
重点目標「夢中になる子～知りたい　なりたい　やってみたい～」

丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和８年４月発行

令和8年度のスタートに寄せて

校長　飯田　英晃



４月８日の着任式、始業式と入学式より、いよいよ令和８年度がスタートしました。私は、令和７年度末の人事異動で伊豆市立修善寺南小学校より転任してまいりました、校長の飯田英晃（いいだ　ひであき）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式では、子供たちの明るく、元気な校歌の歌声から、一人一人のやる気を感じました。また、その後の入学式では、新しい４人の１年生を迎えるまなざしと呼びかけの言葉に、ひとつお兄さん、お姉さんになった優しさを感じました。１年生もその気持ちに応えるように、一人一人が大きな声で、はっきりと自分の目標を述べることができ、たいへん立派でした。

さて、令和８年度は全児童数 44 名でのスタートとなります。

今年度の丹那小学校の学校教育目標は「挑戦 笑顔ひろげる 丹那の子」、重点目標は「夢中になる子～知りたい　なりたい　やってみたい～」です。

挑戦～子供が自ら課題を発見し、試行錯誤を繰り返しながら、自ら追求する姿。
ひろげる～友達の良さ、自分の良さを認識し、認め合うことで人間関係を広げる姿。
夢中になる～得意を伸ばし、苦手に向き合う。「できた！」の前に「やってみた！」姿。

地域、家庭、学校が密接に連携する丹那小だからこそできる教育活動があります。私たち教職員は、44 人の子供たち一人一人の良さや可能性に寄り添いながら、失敗を恐れず、常に「トライ＆エラー」ができる子、「自走する子」の育成を目ざしていきます。また何より、学校が子供にとって「安心・安全」な場所になるよう、子供たちの声を聴き、目と心を離さず、場や役割を与えていきます。



歴史と伝統ある丹那小学校に集った子供たち、保護者の皆様、地域の皆様、教職員。全ての方々にとって、居心地のよい、誇りに思える学校を、皆で楽しく創り上げていきたいと思います。皆様の御理解と御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。